

資料 6

【これまでの取り組みについて】

(1) これまで再編を実施した園や地域の状況について

・ 藤尾学区

藤尾学区で就学前施設を利用している子ども達のうち、1号認定児童は約17%となっており、そのうち約58%が藤尾幼稚園跡地に開設された民間こども園を利用している。残り約42%が京都市の私立幼稚園を利用しており、再編後の長等幼稚園は利用されていない。

居住学区	認定の種類	施設名	施設利用者全体に占める割合	1号認定児童に占める割合
藤尾				
	1号		17.4%	
		跡地に開設された園		57.9%
		京都市の幼稚園		42.1%
	2号・3号		82.6%	
日吉台				
	1号		22.2%	
		坂本幼稚園		64.3%
		跡地に開設された園		28.6%
		その他、民間こども園		7.1%
	2号・3号		77.8%	
仰木				
	1号		15.4%	
		仰木の里幼稚園		100%
	2号・3号		84.6%	
雄琴				
	1号		18.0%	
		坂本幼稚園		31.8%
		仰木の里東幼稚園		27.3%
		その他、市立幼稚園		11.4%
		その他、民間こども園		29.5%
	2号・3号		82.0%	

・ 日吉台学区

日吉台学区で就学前施設を利用している子ども達のうち、1号認定児童は約22%となっており、そのうち約29%が日吉台幼稚園跡地に開設された民間こども園を利用している。再編後の坂本幼稚園は約64%の子ども達が、残りの子ども達は市内の私立こども園を利用している。

・ 仰木学区

仰木学区で就学前施設を利用している子ども達のうち、1号認定児童は約15%となっており、その全員が再編後の仰木の里幼稚園を利用している。

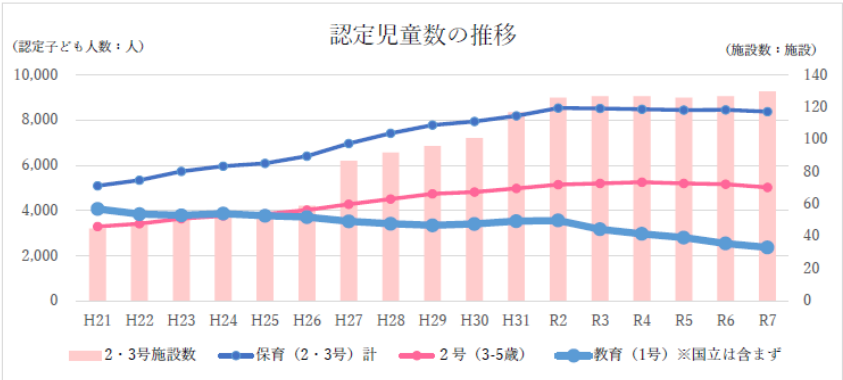
・ 雄琴学区

雄琴学区で就学前施設を利用している子ども達のうち、1号認定児童は約18%となっており、そのうち約32%が再編後の坂本幼稚園を利用している。残り約27%が仰木の里東幼稚園を、約30%がその他の私立こども園をそれぞれ利用している。

(2) 市立幼稚園における3年保育実施の成果について

平成29年度から順次3年保育を開始し、令和2年度からはすべての園で3年保育を開始した。

ここで、満3歳以上の教育を希望する子ども（1号認定子ども）と保育を希望する子ども（3歳以上は2号認定子ども、0歳から2歳までは3号認定子ども）の経年変化をみると、1号認定子どもは令和2年以降、年々減少している一方、2号認定子ども及び3号認定子どもは横ばいで推移している。



(3) 預かり保育の拡大の成果について

市立幼稚園の預かり保育については、令和7年度から時間を延長し、8時30分から9時00分、保育終了後から17時30分まで利用できるようになった。

このことは、「働いていても幼稚園！」（右図参照）というキャッチフレーズの下で、広く周知を行った。

4月1日時点の市立幼稚園の新入園児数は次の表のとおりとなった。



	3歳	4歳	5歳	合計	対前年度
令和5年度	537人	26人	19人	582人	—
令和6年度	455人	34人	12人	501人	▲81人
令和7年度	447人	29人	12人	488人	▲13人